

いろいろ火の里 
みかわ

150号
記念

ざかい



コロナに負けず勉強中 (東郷小学校)

住みやすい町を語り合う
新型コロナ関係予算可決
田田オープンから30年
アフターコロナの対策は
排水施設を見学
ざかい広報の歩み
盆栽を楽しむ会

記念座談会	P2~5
6月定例会	P6~7
いろいろ火の里特集	P8~9
一般質問	P10~16
所管課研修	P17
特別企画	P18~19
シリーズ④ 「がんばってます」	P20

No.150
6月議会
2020.
7.15

るには

は人づくり!



座長 町野 昌弘

「ざかい広報」150号にあたり、6月19日に
広く町民の声を聞く記念座談会を行いました。

参加者

- 石川 昭廣氏(袖東町)
- 土田 市子氏(青山)
- 阿部 善矢氏(横山下)
- 佐竹 優子氏(横山中)
- 菅原 壮一氏(対馬)

座長 初めに「住みやすい町にするには」どの様なお考えをお持ちですか。

「にこにこメイト」等で活躍されています土田さんはどう思われますか。



土田 私は社会教育で子ども中心に活動したり、認知症の方や家族の方々に「にこにこメイト」として支援活動しています。

町づくりは人づくりだと思っています。

座長 たしかに人づくりが重要ですね。

土田 社会教育の自然体験で子どもたちが家庭や学校では経験できないような体験をしている様子を見てみると、子どもの

力ってすごいなと感じます。

そんな子どもたちが育ってくれることが人づくりで町づくりじゃないでしょうか。

実際に三川町からは「ブルーインパルス」の隊長になった遠渡さんが活躍されていますし、これからも夢に向かう子どもたちが多く出てくれればと思います。



土田 市子さん

座長 町内会や老人クラブ等で活躍されている石川さんはどう思いますか。

石川 私は老人クラブやグラウンドゴルフを通じて仲間づくりをしながら楽しみを見つけています。

年齢と共に健康や体力面の問題から参加者の減少が止まりません。中でも男性の参加が少なくなっています。

75歳を過ぎ仕事を離れると時間の使い方に困る人がいると思うんです。そこをサポートして仲間づくりしていくのが老人クラブだと思うし、その組織が弱体化していくのを心配しています。



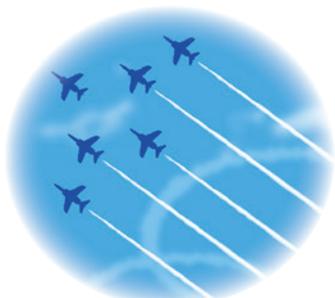
石川 昭廣さん



菅原 壮一さん

座長 「青友」で活躍されています菅原さんはどんな事を思っていますか。

菅原 私自身、「青友」に社会教育や生産組合等いろんな組織に入っていて、自分の時間が取れないほど多忙でとても住みにくい生活を送っていると感じています。



町づくり

ぎかい広報 150号記念座談会



座長 前議員で障害者福祉活動をされている阿部さんはどう思いますか。

阿部 私が今取り組んでいるのは三川町身体障害者福祉協会の活動で、会員は去年より少し増え40人になります。

この会は平成8年には会員が320人いましたが、平成17年の個人情報保護の関係なのか情報が入らなくなり会員が減っていました。

座長 いろいろな制限があり困りますね。

阿部 先日は民生委員を通じてある障害者の所に

行ってきました。

その人は90歳近い方で視覚と聴覚に障害がありながらも短歌会に入っており、作品が新聞で紹介されるなど、障害に負け



阿部 善矢さん



ヘルプマーク

ず前向きな姿勢に驚かされました。その場で会に誘い今は一緒に活動しています。

座長 障害者は社会全体で支え合って行かなければなりませんね。

阿部 皆さんこのヘルプマーク見た事ありますか。これを持っている人は周りの人になにか困ったとき助けてくださいという印です。

このマークの人を見たら声をかけて手伝う事が本来の人間社会の原点かなと思っています。

座長 町外に勤めながら子育てをしてきた佐竹さんはどう思いますか。

佐竹 私は一時期子育てで会社を辞め在宅で仕事をした経験があります。

その時、子育てしながらの仕事は大変だなと思いました。

そういう女性が増えて住みやすい町ってどんな町かなと考えた時、しっかりとした保育所や学童があり、子育て支援センターで子育て世代の繋がりができる事が住みやすい町かなと思いました。

座長 新しくなる子育て支援センターにはどんな事を期待しますか。

佐竹 今度の子育て支援センターにはコワーキングスペースができた知り、仕事を持った女性が仕事をしながら安心して子育てできるので良いと思います。

今後は有効に活用していきけるかが課題なのかなと思っています。

座長 子育てをしてきて教育についてはどう思いますか。

佐竹 子どもの成長過程で、小さいときに何を見たか何をしたかがその先

の何を学びたいかに繋がってくると思います。何を学びたいかも決まらずに偏差値だけで高校や大学に進む子もいて、せっかく教育にお金をかけたのにそれではもったいないと感じます。

教育というのは勉強だけじゃなく社会経験をさせるのも大事だし、いろいろな物を見聞させる事も大事で、そういった教育が充実している事も住みやすい町の一つなのかなと思います。



佐竹 優子さん

次ページに続く

づくりと交通手段の充実を

座長 住みやすい町を考
えるときに従来の町内会
や組織の役員を充てられ
るという制度がネックに
なっている話がありまし
たが。

石川 地区の運動会にな
ると子ども中心になるも
のですから積極的に参加
して盛り上がります。

しかし、役員の成り手
となりますと苦勞してい
ます。

座長 人の繋がりに住み
やすい町についてはどう
思いますか。

佐竹 町内会という考え
は以前から理解はしてい
ますが、町外からきた若
い人が今までの町内会と
関わっているかという
難しいのかなと思いま
す。

これまでの町内会の枠
を超えた比較的にゆるい
広がりのある繋がりもあ
るのかなと思っています。
土田 私の町内会(青山)
では、今年から広報「ハ
ルニレの木」を各家庭に
配ってコミュニケーション
をとるようにしてい

素晴らしいと思いまし
た。



青山町内会「ハルニレの木」

普通、町内会の配り物
というと行事や集まりの
お知らせ版ですが「ハル
ニレの木」には、村の神
社の木にサギが巣をつく
り、その駆除に町から花
火をもらいやってみたら
失敗したなど、身近で楽
しい話題が載っていて、
町内会の繋がりを感しま
した。



に寄り添った活動を

座長 次に議会活動や
「ぞかい広報」について
意見を聞かせて下さい。

石川 以前は16人で議員
活動してきたのに今は
10人でよくやっていると
感じています。

そんな中で、議員も専
門の分野をもって深く勉
強し、地域の方からアド
バイスをもらいながら質
問していったら、もっと
良いんじゃないかと見て
います。

土田 以前に議会の傍聴
をしました。間近で議
会の様子を見ると白熱し
ていて議員がいろいろ勉
強され、頑張っているん
だなと感じました。

阿部 議会は常に町民の
声に耳を傾けながら今何



阿部

が求められているのかを
聞き、活動してもらいた
い。「ぞかい広報」は直
接町民と結ぶ大事な物だ
と思います。



おぢのみ会議 (広聴活動)



座長 先ほど障害者の交通手段が無く困っている話がありましたが、議会でも公共交通の問題を議論しています。

皆さんはどんな意見を持っていますか。

阿部 三川町内にあったタクシー会社や代行業者が無くなり、今、障害者が使うのはデマンドタクシーか町の福祉バスです。そのデマンドを他市町まで延ばすように議会からも研究してもらいたい。また、利用時間も午後5時で終わりになっていますが、今の時期午後5時では明るく、早いと思います。

季節に合わせた利用時間も検討して頂きたいです。



座長 移動手段についてはいかがですか。

石川 以前は町のバスを町内会や各団体に貸し出していましたが今はしていません。

交流会や研修会に行くにもレンタカーだと負担も大きくなり大変なので町のバスを使わせてほしい。

菅原 どうして使えないのですか。

阿部 目的や最低人数に決まりができて、予定しても当日10人にならないと利用出来なくなる事もあります。

佐竹 以前中学校の吹奏楽でバスをえるようにお願いし、使った事もありましたが、帰りの時間等制限が厳しくて結局自分たちでバスを手配した経験があります。

議会活動やぎかい広報について

町民

佐竹 私も「ぎかい広報」はすばらしいと思っています。

今は何でもネットにあがっているからとウェブで完結しようというのは良くないなと思っていますし、紙媒体でちゃんと



配られる事って素晴らしいと思います。

それから特に子育て世代のお母さん達はあまり政治との繋がりをもちたがらないし、時間と機会もない事から議会の広聴活動に参加しづらい面もあるのかなと思います。

たとえば子育てママ達を集めて気軽なワークショップみたいなものを開いて、意見をすくい上げてもらいたいと思います。



座長 貴重な意見ありがとうございました。今日の意見は議会共通のテーマとして今後の議会活動に役立たせて頂きます。

対策に9億3947万円

第2回議会定例会は、6月9日から12日までの会期で開かれました。諸般報告3件の後、令和2年度一般会計と国保特別会計補正予算6件、条例の一部改正7件、事件案件2件、人事案件1件を原案通り可決（承認）しました。

補正予算の主な内容

一般会計

新型コロナウイルス感染症対策に係る支援策として、すでに専決処分の手続きにより予算執行されている「特別定額給付金」7億4500万円を含む、総額9億3947万2千円の補正予算を可決（承認）しました。

このなかには、子育て世帯臨時特別給付金や遠隔通信教育用電子機器の整備費。また、割引クーポン券及びプレミアム付商品券の発行や事業者支援としての経営改善支援金及び応援給付金のほか、「いろいろ火の里」への助成金が含まれています。

◎総務費

問 デマンド型タクシーの委託料について、33万6千円に140万円追加補正される理由は。

企画調整課長 これまで委託していたタクシー会社の都合により、6月から別会社に変更したため、人件費や移動費用が増額となったものです。

◎消防費

問 防災備品購入費の内容は。

総務課長 町内4か所の避難所における密接した環境などを回避するための屋内テントや手洗い用など生活用水を確保するための浄水装置のほか、感染症対策としての非接

◎教育費

問 小・中学校に整備される備品の概要は。また、完備される時期は。

教育課長 国のGIGAスクール構想により、電子機器（タブレット）を、児童・生徒全員分を購入するものです。

全国一斉に早期着手となった事業であり、国内需要が高まる中、海外メーカーの機器となる見込みであり、早期の実現を目指していきます。

◎商工費

問 三川町中小企業等応援給付金とは。

産業振興課長 本町独自の支援事業であり、3

※P12に用語解説

新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望

1. 各種問合せや相談に対し包括的かつ迅速な対応ができる支援チームの設置が急務である。専門的担当者でチームを構成し、積極的に生活実態の情報収集と、それに対する支援策を講ずること。
2. 小・中学校の臨時休校に伴い、負担増となった子育て世帯に対し町独自の生活支援金を交付すること。また、長期間学童保育所を開設し尽力された支援員等に対し、慰労としての激励金を交付すること。
3. 休業要請や営業自粛等で収入が減少した事業者に対し、町独自の金融支援策を講ずること。また、国の「持続化給付金」制度を参考にして、町独自の支援金を交付すること。



小林議長から阿部町長へ緊急要望が手渡された（5月15日）

5月に対前年比15%以上減収した場合、個人へ5万円、法人へ10万円を給付するものです。

「商工費」の質疑応答の続きは8ページに掲載されています。

国保特別会計

新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者への傷病手当金15万2千円が追加されました。

迅速な
支援を

新型コロナウイルス感染症

条例の改正等

◎固定資産評価審査委員会条例（一部改正）

国の法律改正（情報通信技術利用法が活用法に改正）により、当該条例の一部を改正することになりました。

◎税条例（一部改正）

地方税法等の一部を改正する法律や政令などが4月30日までに公布されたため改正することになりました。

◎国民健康保険税条例（一部改正）

地方税法等の一部改正と山形県国民健康保険運営方針に従い3方式（所得割、均等割、平等割）への移行を図るため改正することになりました。

◎後期高齢者医療に関する条例（一部改正）

当該医療制度に加入している方の「傷病手当金」の申請受付について規定されました。

◎介護保険条例（一部改正）

所得の少ない方に対する介護保険料の軽減を強化するために改正されました。

契約の締結

押切小学校大規模改修事業校舎等改修工事第3期（校舎1号棟）

・契約の方法
19業者による指名競争入札

・契約金額
1億8260万円

・契約の相手方
（株）佐藤工務（鶴岡市）

ロータリー除雪車等購入
・契約の方法
6業者による指名競争入札（2社辞退）

・契約金額
3575万円

・契約の相手方
北日本車輛（株）（酒田市）



草刈り兼用除雪車

人事案件

◎固定資産評価審査委員会委員の選任
五十嵐政朗氏（押切中町）の任期満了に伴い、小林優氏（横山上）が選任されました。

6月定例会の議決状況

○は賛成、×は反対、議長は賛否に加わらない。

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9
議員名		鈴木重行	志田徳久	佐藤栄市	佐久間千佳	野野昌弘	芳賀修一	鈴木淳士	成田光雄	梅津博
議案名										
議第26号	三川町税条例等の一部を改正する条例の設定についての専決処分の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第27号	令和2年度三川町一般会計補正予算（第1号）の専決処分の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第28号	令和2年度三川町一般会計補正予算（第2号）の専決処分の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第29号	令和2年度三川町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）の専決処分の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第30号	三川町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第31号	令和2年度三川町一般会計補正予算（第3号）の専決処分の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第32号	令和2年度三川町一般会計補正予算（第4号）の専決処分の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第33号	令和2年度三川町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	×	○	○	×
議第34号	三川町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第35号	三川町税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第36号	三川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第37号	三川町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第38号	三川町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第39号	三川町立押切小学校大規模改修事業校舎等改修工事第3期（校舎1号棟）請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第40号	ロータリー除雪車等購入契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第41号	三川町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(株)みかわ振興公社に 5000万円の支援!!

修正動議は賛成4、反対5で否決

新型コロナウイルス感染症対策として、いろり火の里支援助成金5千万円の修正予算について減額修正案が提出され、修正動議を提出した理由並びにそれに賛成する意見を述べた後に採決した結果、4対5で修正案は否決されました。その後、一般会計補正予算は原案どおり可決されました。

一般会計補正予算の 修正案賛否

鈴木重行	○
志田徳久	×
佐藤栄市	×
佐久間千佳	×
町野昌弘	×
芳賀修一	○
鈴木淳士	○
成田光雄	×
梅津博	○

○は賛成、×は反対。
議長は賛否に加わらない。

一般会計補正予算
質疑答の続き

◎商工費

問 「いろり火の里」の経営事情は理解できるが、今の時点で町から5千万円、山形県商工業復興資金融資から5千万円と合計1億円を手立とする理由は。

また、運営経費削減や利用率向上対策など(株)みかわ振興公社の経営努力も必要では。

企画調整課長 5千万円

の借入れだけでは、1〜2カ月で不足となり、今年度末には9千万円不足になると想定しています。今後の経営戦略として、今後ののテイクアウトや山形県のキャンペーンと並行して事業展開する計画ですが、赤川花火大会の中止や海水浴場の閉鎖、夏休み期間の短縮など、経営回復は難しい状況であると想定し、町からの助成金5千万円を計上しました。

問 山形県商工業復興資金融資上限の2億円を借り入れ、可能な限りの経営改善を展開する努力や事業の見直しを検討するなどして町民の理解を求めるときでは。

企画調整課長 (株)みかわ
振興公社が経営努力しながら町が資金不足分を支援することにより、公共サービスの提供を行っている当該振興公社の評価が維持され、利用いただけるものと判断しています。

修正案の提出理由

鈴木 淳士 議員

この度の経営不振は理解できるものの、3月以降のキャンセル発生後、早期の対策検討は可能だったはずですが、いまだに(株)みかわ振興公社から具体的な経営戦略が示されないまま5千万円もの助成金を交付することは、町民からご理解いただくことなのか疑問です。

今こそ、町民福祉向上と利用拡大策としての入浴券や宿泊券を配布するための補助金交付を臨時議会で検討すべきです。

そして、今回の危機を「いろり火の里」の将来を町民全体で考える契機とするためにも、一旦、減額修正案を提案します。

修正案の賛成討論

梅津 博 議員

(株)みかわ振興公社の今後の経営改革・経営戦略が、何も示されていない事は大きな問題です。

新型コロナウイルス感染症の影響は全世界に及んでおり、経済不況は長く、また深刻になる事は容易に予測できません。

公社の経営について、単なる一過性の対策ではなく、抜本的な意識改革と構造改革が必要です。町としても「いろり火の里」の施設を今後どのように運営していくか、再検討することが必要です。

このような状況の中で、拙速な赤字補填はやるべきです。

いろいろ火の里も20年経過 なの花温泉田田は30年

いろいろ火の里の 整備事業費（当初）

なの花温泉田田	平成2年度	4億 6128万円
田田の宿と なの花ホール	平成10～ 11年度	14億 437万円

平成2年に「なの花温泉田田」の運営が開始された後の10年経過した平成12年から「田田の宿」と「なの花ホール」の営業が開始されました。当時、平成10年から翌11年にかけて、総工費2億7千万円の投資により現在の「いろいろ火の里」の全容が形作られたことになりました。

**いろいろ火の里は
平成12年から**

新型コロナウイルス感染症対策による影響により、これまでにない経営不振に陥ったことから、5千万円の助成金を交付することになりました。

この度の事態を契機に、「いろいろ火の里」に関するこれまでの経過を確認することになりました。



**年間30万人の
入浴客が…**

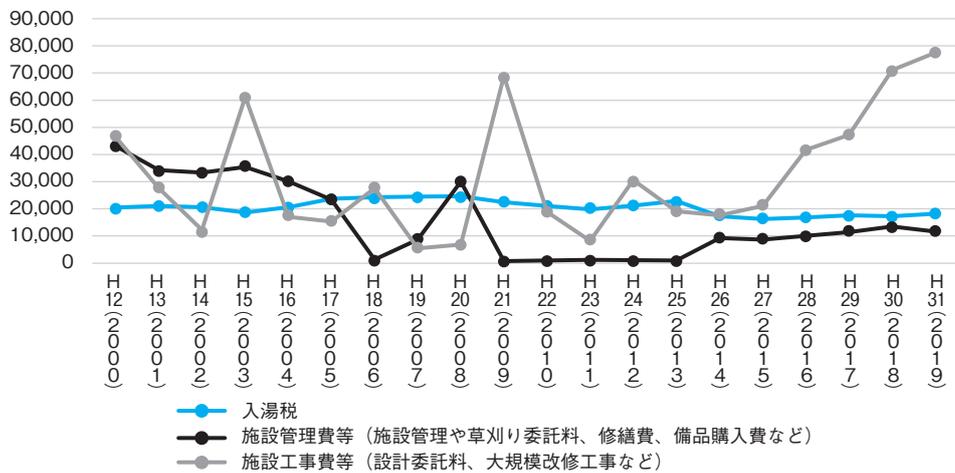
まだ「なの花温泉田田」のみの時代でも、年間30万人を超える入浴客が訪れていました。

いろいろ火の里全体が整備された後は、年間33万人を超える時期も複数年記録されています。

近年の状況は、26万人（28万人弱の範囲で推移しています）

入湯税と施設管理費と工事費

(単位：千円)



「いろいろ火の里」の施設は、ここ数年の間に、老朽化による補修工事や内部改装などの工事が毎年施工されています。

今後必要な工事を実施する計画が策定されています。

「入湯税」は、毎年170万円ほど納税されていますが、過去において

いるとのことであり、町の財政負担が続くことになります。

一方、その財源となる

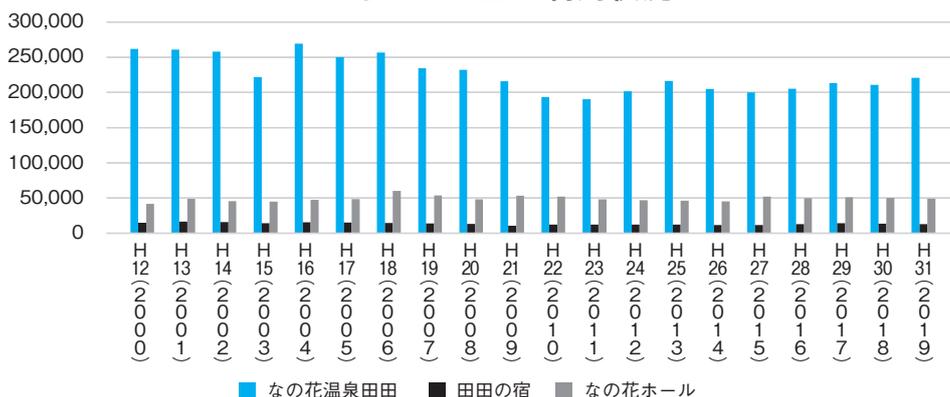
20～30年経過により改修工事の連続

は2400万円を超える時期もあり、今後の入浴客の増加対策も重要な課題といえます。

今後の、指定管理者として経営に携わる(株)みかわ興公社による取り組みに期待するものです。

いろいろ火の里の利用状況

(単位：人)



町政を問う

6月定例会

一般質問



議会ホームページは
こちらから
(音声配信中)

一般質問 とは…

町政に関して議員が質問を行い、新たな政策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

6月11日、6人の議員が以下の項目について質問しました。
新型コロナウイルスの影響を考慮し1人30分で行いました。

鈴木 重行 議員

(11ページ)

- 学習の遅れの対策は
- 継続的な経済支援を

佐久間 千佳 議員

(12ページ)

- 遠隔学習体制の構築を
- 役場機能の維持を

志田 徳久 議員

(13ページ)

- 社会活動への影響は
- 社会教育活動は

町野 昌弘 議員

(14ページ)

- アフターコロナに備えた経済支援を
- 第2次臨時交付金の対応は

芳賀 修一 議員

(15ページ)

- 第4次総合計画の有効化は
- パブリックコメントの評価は

鈴木 淳士 議員

(16ページ)

- 健康づくりで商店等振興策を
- 高齢者優遇策にて“三方円満”に

(10) 16ページまとめ 佐久間千佳

臨時休校による学習の遅れは

教育長 夏休みの短縮や学校行事の見直しで対応する

問 感染拡大防止策として小中学校では臨時休校措置がとられました。学習の遅れの対策は。

教育長

令和元年度分については、ほとんどの学年において各教科の単元を終えていました。令和2年度分は学校再開まで小学校は20日、中学校で19日授業日数が減少しています。

年間の授業日数、及び授業時数を確保するため、夏休み期間の短縮や学校行事の見直し、時間割の変更など、各校で教育課程の組み直しを行い対応しています。

問 再開された各学校での感染防止対策は。

教育長

児童生徒、教職員の毎日の検温やマスク着用での授業、こまめな手洗いや教室のドア・教具等の消毒、密を避けるための学習机の配



感染防止対策をした授業風景

置や教室変更など県の「学校再開のガイドライン」に従って学校独自のガイドラインを作成して取り組んでいます。

問 新型コロナウイルス対策では緊急的な支援と継続的な支援が求められています。今後の対応は。

町長 町内における雇用状況や事業者の経営状況について実態の把握に努め、本町の実情に沿った効果的な支援策を講じていく必要があると考えています。

また、各支援の実施にあたっては国、県、関係機関等と連携を図りなが

継続的な経済支援を

ら、迅速で的確な感染拡大防止策、及び経済・雇用対策を推進し感染拡大の防止と社会経済活動の維持の両立を目指します。

問

収入が著しく減少した世帯からは、住民税や固定資産税の減免を求める声があります。救済措置の考えは。

町長

新型コロナウイルスの影響により収入が減少したため納税が困難となった納税者には町税及び国民健康保険税の徴収猶予を行っています。納税者の申請により本来の納期限から1年間納税を猶予できる制度です。

今後とも収入の減少した納税者等の救済に努めるとともに、国における施策の推移を見守り適切に対応してまいります。



鈴木 重行 議員



町 HP での支援の周知

遠隔学習体制の構築を

教育長 実現に向け取り組む



佐久間 千佳 議員

問 新型コロナウイルス感染症の第2次

感染拡大が懸念される中、学校教育の遠隔学習体制を早期に構築すべきと考えます。

教育長 今後県内において感染拡大が起きた場合、子どもたちの命を守ることを第一に考え、

休校措置を取らざるを得ない状況になると捉えています。

仮に、再び休校措置が取られた場合でも、子どもたちの「学びの保障」に繋がる取り組みは行っていかなければならない

と考えています。

その学習支援の1つの手法として遠隔学習があります。現時点で遠隔学習体制の環境は整っていませんが、国のGIGAスクール構想に基づき、学校における1人1台のパソコン整備の補助事業を推進し、学校内の情報



期待される遠隔学習

通信ネットワーク整備を行うとともに、パソコン導入について前倒しして整備して行きます。

運用面については、諸課題の克服に努めながら、遠隔学習の実現に向け取り組んで行きます。

※GIGAスクール構想：2019年12月文部科学省が打ち出した構想。児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰1人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想。GIGAとはGlobal and Innovation Gateway for Allの略

役場機能の維持を

問 第2次感染拡大時における役場機能

の維持について、リモートワークや公共施設を利用し課の配置を分散させる等の感染拡大防止策が必要では。

町長 本町を含めた小規模自治体では、住民と直接やりとりする窓口業務に多くの職員が従事しており、さらに、多くの事務が個人情報を扱うことから、情報セキュリティ上の課題もあり、現時点では、在宅でのリモートワークは困難

だと考えています。役場以外の公共施設を利用した分散勤務についても、情報セキュリティや通信環境の整備コストなどの課題があります。万が一、職員が感染した場合は濃厚接触者となった場合に備えて、最低限の行政サービスの維持を図るため、継続的に実施しなければならぬ業務を事前に洗い出し、課内または複数課による相互応援体制を構築し、対応して行きます。



リモートワーク体制の整備を

社会活動への影響は

町長 人の繋がりへの維持に努める

問 今後、従来とは違う生活スタイルになると思われるが、地域での繋がり、社会活動への影響は。

現在、町民より新型コロナウイルス感染症として「新しい生活様式」に基づく行動に理解と協力をいただいています。今後は、感染症の状況に応じ、町が適切な対策を行うことで、段階的に、従来の日常を取り戻すと見込んでいます。

町長 社会経済活動が制限されている状況下ですが、住民の地域活動では、活動に対する互いの共通理解が重要です。そのため

には、会って話す、集まって話し合うコミュニケーションは欠かせません。町では、個人や団体等の活動が停滞したり、萎縮しないよう促すことで、地域での人の繋がりが希薄化しないように取り組む考えです。



志田 徳久 議員



マスクをしての会議

社会教育活動は

問 今後の社会教育の推進は。

教育長 新型コロナウイルスの影響により、町内の公共施設の使用が中止されたため、スポーツや芸術文化活動、公民館事業など社会教育全般にわたる活動もすべて停止された状況です。

現在は、5月下旬の緊急事態宣言の解除により、社会教育活動も徐々に再開されています。

今後は、引き続き新型コロナウイルス感染症予防対策を取りながら、町主催の各種社会教育事業を実施したいと考えています。

問 スポーツ活動の停止が、児童・生徒に与える影響は。

教育課長 2ヶ月以上スポーツ少年団・中学校の部活動の停止による体力の衰えについては報告を受けています。

スポーツ活動は、健康維持の目的だけでなく、達成感を得たり、連帯感を深めたりすることができるとい意味で、人としての成長の糧となっています。

全国・県大会が中止・延期になりましたが、各種競技団体で対応策を講じており、中学校の部活動では田川大会を検討しているの期待しています。



再開された中学校での部活動

アフターコロナに備えた経済支援を

町長 要望把握に努め的確に支援



町野 昌弘 議員

問 新型コロナウイルス感染症に伴い経済的ダメージを受けている事業者に、スピーディーな対応ができる町単独の支援が必要では。

町長 これまでは「みんな応援クーポン」などで応援クーポン券にいち早く取り組んだところであります。さらに、町内事業者等を支援するプレミアム付商品券の発行や宅配サービス等支援事業、中小企業等応援給付金等も出羽商工会や観光協会との連携により、迅速、かつ円滑な執行に努めています。

問 近隣の市では有利な融資支援があるのに対し同じ商圏で競争する本町の事業者が不利にならないよう支援策が必要では。



新型コロナで自粛している商店

産業振興課長 出羽商工会とも相談し、事業者の要望を聞きながら今後考えていきます。

問 中小企業等応援給付金、個人5万円法人10万円では支援として少ないのでは。

産業振興課長 この金額は全国や近隣の状況を鑑みながら設定しました。今後状況を見ながら第2弾、第3弾も考えていきます。

第2次臨時交付金の対応は

問 第1次地方創生臨時交付金は感染症を水際で止める目的もあり急いで決定されましたが、第2次交付金は新型コロナウイルスの影響で痛んだ経済活動を救う目的で交付されると思われるがその対応は。

総務課長 未だ決定されていませんが、本町で把握している情報としては、事業所への家賃や雇用維持支援、施設イベントの再開や新しい生活様式に対応した地域経済の活性化に使うなど目的を絞った使い方になると認識しています。



賑わいを取り戻しつつあるイベント

第4次総合計画の有効化は

町長 3ヶ年のローリング方式で

問 第4次総合計画の作成手順と特色は。

町長 第3次総合計画と同様に、町民アンケートを実施し、公募委員も含めた「三川町総合計画策定推進委員会」を設置し、計画案としてまとめました。また、パブリックコメントも実施し、策定作業を進めてきました。

問 計画案の序章で、持続可能な開発目標（略称SDGs）から17の目標が掲載されていますが、当町に具体的にどう取り入れていくのが記載されていないため、逆に体裁がよくありません。掲載の経過と意図は。

町長 国や県、他の市町村も計画に位置付けており、町の段階で基本構想に盛り込みました。

問 基本構想を基にした基本計画に、3次総合計画にあった主要なプロジェクトが掲載されていません。計画の具体性に欠ける印象があり、計画にのせるべきではない。

町長 基本的プロジェクトは、実施計画により、3ヶ年のローリング方式で、毎年見直しを行っていきます。



国連の持続可能な開発目標ポスター (SDGs)

パブリックコメントの評価は

問 インターネットによる「パブリックコメント」の結果は応募無しと聞いていますが、その評価は。

町長 残念な結果でしたが、評価はよく言え、まとまった計画として評価いただいたが、悪く言えば町民の関心が無かったともいえますが、事前のアンケート調査では多くの意見をいただいております。また、事業実施では意見をいただきました。原案作成の段階では、現在の新型コロナウイルスの感染状況

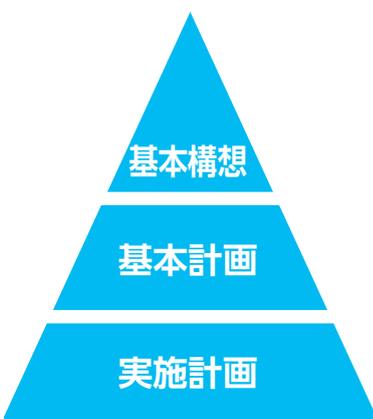
問 原案作成の段階では、現在の新型コロナウイルスの感染状況

町長 原案について、新型コロナウイルスの感染については、触れるようにしますが、改めてパブリックコメントの実施はせず、予定通りに計画を進めます。

問 原案について、新型コロナウイルスの感染については、触れるようにしますが、改めてパブリックコメントの実施はせず、予定通りに計画を進めます。



芳賀 修一 議員



第4次総合計画の構成

健康づくりで商店等振興策を

町長 地域経済振興策はクーポン券配布済み



鈴木 淳士 議員

問 新型コロナウイルス対策の一環として、町内の商店や飲食店の振興策となるマイチャレ事業の「500円商品券」を早期に交付できるような制度改正するほか、高齢者の参加に対しては付与するポイントを優遇するなど、年齢別のポイント制に改正し各年代層とも積極的に健康づくりに取り組めるよう制度設計すべきでは。

町長 今年度の「みかわマイチャレ事業」については周知済みであり、年度途中の制度改正は、参加者や管理団体に



普及が進んだ“みかわマイチャレ”

も混乱を招く原因となる
ことが想定されます。
また、地域経済振興策
として全世帯にクーポン
券を配布するなどの対策
済みであり、当面は現行
制度のままで実施しま
す。



介護予防のための自立体力検定

高齢者優遇策にて「三方円満」に

問 介護保険料や後期高齢者医療保険料の増額抑制のためにも、高齢者優遇策に特化した新たなポイントカードの作成やこれに必要な経費については、この度の新型コロナウイルス対策に係る国からの交付金の対象になると考えられます。

また、健康ポイント制度の対象者が「40歳以上」という条件は山形県内において本町だけでなく、この際、国からの交付金

を活用し対象者を20歳以上に拡大するなど、町民の健康増進、町の医療費抑制、町内の商業振興を
目指して大規模な制度改
革を断行すべきでは。

健康福祉課長 この度の地方創生
事例にある「健康支援事
業」に該当するものと承
知してはいますが、年度途
中における制度改正は混
乱を招く危険性もあるこ
とから、色々な取組みを
参考にしながら今後慎重
に検討して参ります。

梅雨を前に排水施設を見学

6月25日、建設・農業行政に関わる施設の現状と事業の進捗状況を把握する目的で、「赤川河川緑地ふれあい広場」、「沖堰、尾花排水機場」、「二丁堀、二丁排水機場」について視察研修を行いました。

赤川河川緑地 ふれあい広場

かわまちづくり整備事業として平成27年度より事業実施しているもので、田田大橋付近に休憩広場、親水空間、多目的広場、スポーツ広場等を整備する事業です。

すでに整備完了となった休憩広場や、今年度実施予定の親水空間における噴水整備に関し現地視察を行いました。国の補助の削減により、事業が遅れが出ており、整備完了時期が見通せない状況になっています。



多目的広場のカマド



施設概要の説明を受ける

完成後の管理、運営体制の整備も課題となっています。今回の視察において、既に整備した設備を供用開始するためのルーブル作りを早急に行うべきと捉えました。

沖堰、尾花排水機場

施設の長寿命化を実施した沖堰排水機場において、実施箇所（手すり、フェンス等）の確認や尾花排水機場における施設の現状を視察しました。

- **沖堰排水機場**
平成8年度完成
ポンプ口径
1200mm 2台
合計排水量
5・83t（毎秒）
- **尾花排水機場**
平成16年度完成
ポンプ口径
1350mm 2台
合計排水量
7・33t（毎秒）

二丁堀、二丁排水機場

二丁堀排水機場については、7月から稼働可能であり、施設の全容が把握できる状態での視察でした。水位が4・5mに達すると自動でゲートが縮まり、ポンプが稼働するとの事で、管理人が常駐する必要のない施設になっていました。

二丁排水機場では、令和3年度からの稼働を目指し吐出水槽付近の工事を進めていきました。梅雨時期の雨を警戒し

つつ安全な工事を願うとともに、農地の冠水被害に対応する排水機場の完成が待たれます。

- **二丁堀排水機場（渚地内）**
吸込口径
500mm 2台
計画排水量
1t（毎秒）
- **二丁排水機場（土口地内）**
吸込口径
800mm 2台
計画排水量
2・5t（毎秒）



完成した二丁堀排水機場

の歩み

101号～149号

注目の見出し・記事

108号 2010.1.15



議会が町へ提出 提言書
(2009.12.18 提出)

111号 2010.10.15



第3次総合計画「基本構想」
全会一致可決

115号 2011.10.15



追跡 あの質問はどうなった
「両田川橋」
(大型貨物交通規制)

116号 2012.1.15



「議会基本条例」、
「議員政治倫理条例」可決
中学生と初懇談会

125号 2014.4.15



中学生までの医療費無料化
両田川橋期生同盟会へ
追跡 あの質問はどうなった
「袖東地区の内排水排除対策」

130号 2015.7.15



シリーズ 議会の仕事
「ぎかいって何？」

134号 2016.7.15



追跡 あの質問はどうなった
「両田川橋架け替えは」

137号 2017.4.15



切磋琢磨活発な議会活動を！
新議員、新たな気持ちで

143号 2018.10.15



土・瀧地区排水ポンプ設置
(2019年6月着工予定)

146号 2019.7.15



核兵器のない世界を
国へ意見書提出

148号 2020.1.15



ふるさと応援寄附金が好調！
(5億3千万円)

149号 2020.4.15



押切小学校大規模改修
新たな認定こども園開設へ

150号を数えた

みかわぎかい広報

101号 2008.4.15



議員定数12人から10人へ
後期高齢者医療制度始まる

103号 2008.10.15



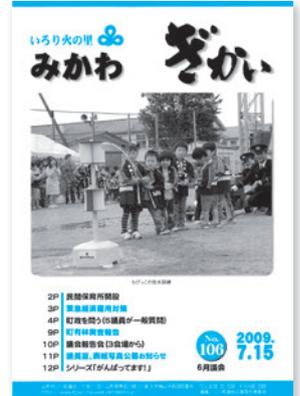
福祉バス「でんでん号」が
デマンドタクシーに移行
夜間議会開催(傍聴者40人)

105号 2009.4.15



議員選挙
10人の新しい議員

106号 2009.7.15



シリーズ町内団体紹介
「がんばってます」始まる
①「リーフ工房みずほ」

117号 2012.4.15



追跡 あの質問はどうなった
「地場産学校給食」
(三川産 28.1%)

119号 2012.10.15



小学生との議場懇談会
「夢をかたる」

121号 2013.4.15



人心一新
町民の声、行政に反映

122号 2013.7.15



追跡 あの質問はどうなった
「水害対策は」

138号 2017.7.15



追跡 あの質問はどうなった
「猪子天神堂間安全対策」

140号 2018.1.15



「おぢやのみ会議」
議員と語る会開催

141号 2018.4.15



子育て交流施設慎重な舵取りで
予算修正大型事業の再考を!!

142号 2018.7.15



「子育て交流施設」前進へ
補正予算に附帯決議
追跡 あの質問はどうなった
「集中豪雨対策は」(議員川へ排水ポンプ設置)

山形県
町村議会
広報コンクール
入選

がんばってます

「盆栽を楽しむ会」

高度な展示を目指して



盆栽を楽しむ会は、昭和50年頃設立した「美三郎盆栽研究会」が前身で、当初4、5人から始まり、最大で50人まで広がりましたが、現在は、10人程で活動しています。

毎週日曜日の午後2時より4時まで自分たちの盆裁を持ち寄り評価しあっています。遠くは、「新庄市」からも参加しています。

今まで、三川町の「葉の花大学」や旧余目町の行事でも指導をしてこられた押切上町在住の五十嵐貞雄氏の指導で、冬は

手入れ法などの学科、春頃より実技講習を行っています。

三川町で行っている「みかわ秋まつり」では東京都美術館で開催している日本盆栽協会の国風盆栽展に準じて仕切り竹を使用して3点、2点飾りも行い、展示しています。



（取材 志田 徳久）
☎ 66-3775

盆裁を楽しむ会
代表 渡辺 勝喜
（青山町内会）

連絡先

今後は、若い人達にも興味を持っていただき盆栽の良さを広めたいと思っています、多くの皆さんの参加を待っています。



編集室

小暑を過ぎ、いよいよ夏本番です。コロナと共存する新たな生活様式の実践は不自由さもありますが、自身や家族の安全は何物にも代えられないと心得て過ごしております。

早期の終息と共存に向け創意工夫が必要と痛感している所です。

150号の記念を迎えた本号では、町民との座談を行い、様々な意見を伺っています。ぜひ皆様のご意見ご感想をお寄せ下さい。

海山の恋しい季節、お体に気をつけてお過ごし下さい。

佐久間 千佳

【表紙の写真】
（写真）鈴木 重行



発行責任者
会議議長 小林 茂吉
編集 広報常任委員会
委員長 町野 昌弘
副委員長 鈴木 淳士

委員 志田 徳久
委員 芳賀 修一
委員 鈴木 重行
委員 佐久間千佳